



INGING MOTORSPORT



INGING MOTORSPORT OFFICIAL WEBSITE OF PAPER [http://www.inging.co.jp]

INGING NEWS PAPER 2013 VOL.06

TAKE
FREE
無料



UPDATING RESULT!

国本、ベストリザルトを更新し4位入賞!
Update the result of him, and the winning 4th.



Race Report
Round.6 SPORTSLAND SUGO 9/29 Final
2013年9月29日 スポーツランドSUGO

Round.7 SUZUKA CIRCUIT 11/9 - 11/10

Support by @cyber net

INGING NEWS PAPER VOL.06 [インギング ニュースペーパー]

2013年11月発行 第06号
発行：株式会社サイバーネット 高田本番場
〒559-0011 大阪府大東市津本町1-1-25 高田本番ビル5F



Race Report

Round.6 SPORTSLAND SUGO 9/29 Final

(決勝 Race 68周)
2013年9月29日 スポーツランドSUGO
天候 晴れ | コース状況ドライ



4度のセーフティカー導入でレースは波乱!

予選日に比べるといくらか量は多いものの、スポーツランドSUGOは緩やかな秋晴れで決勝日を迎えた。朝のフリー走行は国本10番手、平手17番手タイムとなったが、ここで重要なのは最速タイムよりも重要なのはマシンバランスとロングラン。両者ともに決勝レースに向けて入念なチェック走行を行っていた。特に平手は予選と比べても周回タイムが縮まり、決勝レースでの巻き返しを誓っていた。

決勝レースは午後3時2分にスタート、P.MU/CERUMO INGINGの2台はともに好スタートを見せ、国本はポジションキープ、平手は3つポジションアップで1コーナーを通過した。が、平手はこの直後にリヤを滑らせてスピン、1コーナー先でコースアウトを喫してしまう。幸いにもグラベルストッパは免れコース復帰できた平手は賢明な切り替えて後方からの追い上げにかかった。目の前では6台ほどが連なっており、まずはここに高いつきオーバーテイクでポジション確保を狙っていたが、3周目のSPコーナーで再びリヤを滑らせてしまい、止まり切れずにクラッシュ。マシンのダメージもあり、まさかのリタイアとなった。

このクラッシュにより、レースはセーフティカーが導入されることに。3周のセーフティカーランが解除された7周目、前方のギャップをぬけたままスタートに成功した国本は、オーバーテイクシステムを使い一気に6番手に並びかけた。巻き返しは一時ストップ。さらにこの直後に1コーナーで出車のクラッシュが発生し、レースは再びセーフティカーランとなった。この間に上位のマシンは前後軸とタイヤ交換のためにピットに入ったため、ステイアウトした国本は一旦2番手まで浮上、

上位でレースを進めることとなった。トップのマシンには驚かされるものの、上位陣の中では上々のラップタイムを叩き、異彩を放つセーフティカーが入ることとなった。チームはさすがに予選日に比べてタイムを伸ばし、さきほどのセーフティカーランでステイアウトを喫していた上位3台が一気にピットに入り、国本は7番手までコース復帰を果たした。31周目にセーフティカーランが解除されると、このリスタートでも国本は絶妙のタイミングで直進し前走のマシンに並びかけた。ここで高い巻き返しはかなわなかったが、34周目のストレートで再び並びかける1コーナーで一気に巻き返し6位浮上。さらにトップ争いの2台が接触、1台がリタイアとなったため、国本は5番手まで順位を上昇することに成功した。上位陣の中でもコンスタントに高いラップタイムを叩き続ける国本は4位のマシンに近づいていくが、接近するまでダウンフォースが衰えてしまうのか、思ったほどの接近ができていない。海もあくわいてるうちにトップのマシンがベナルティにより後退したため、自動的に4番手までポジションアップ、目の前の1台を抜けば初の表彰台が見えてくる。最後はブッシュを試みる国本だが、レース終盤の59周目、SPコーナーでクラッシュが発生しなんとこのレース4回目のセーフティカーが導入されることに。64周を解してセーフティカーランが解除され、残りわずか4周。ここまで3周見せている好スタートが期待されたが、背後からもハイペースで追い立てられポジションアップはかなわず、新しいながらも最終までで出たベストリザルトを更新し、4位入賞を果たした。

2013 SUPER FORMULA Round 06 Race Comment



38 平手 晃平

Race Result リタイア

「何と云っていいかわからない週末になりました。朝のフリー走行では予選に比べ周回タイムのギャップも縮んでいたので、レースではちゃんと走ってればチャンスが生まれるかもしれないと期待していました。スタートでポジションが上がり、目の前にいた安田選手とのバトルでは普通に順に並んでブレーキングに入ったのですが、急にリヤが滑ってスピンの状態になりました。追い上げようと思ったレースを自分のミスで終えてしまいました。残るは最終戦だけになりました。最終戦でもいい感触を得られているコースです。今シーズンを通してクルマも進化していて、予選上位も狙えると思っています。ラストランとなるレースを、最高の形で終わらせるように頑張ります」

39 国本 雄資

Race Result 4位

「ペースもすごく良かったし、オーバーテイクもできてすごくいい内容のレースができました。チームの作戦もうまくいきました。ただ、4周目のセーフティカーが入る直前に少し前とのギャップを作ってしまった。真意が出ている感じだったので、前のマシンの真後ろまで追ったところでダウンフォースが抜けてしまい、2-3周ペースを落とすことになりました。でも1ターナルで奪えと、この週末はフリー走行からクルマの調子がとんでもなく、すべてがうまくいったかなと思います。今シーズンは富士大会のあたりからクルマがガラッと変わって良くなってきて、さらに今回は決勝のペースも良く、どんないい方向に進んでいっていると感じています。最終戦でもっといい走りができるようチームとモチベーションを高め、優勝を目指したいと思います」

38号車はスタート位置が後ろのため厳しいレースを予選していましたが、悪い形でもレースを戦えることになってしまいました。最終戦に向けてしっかりと立て直しなければいけないと感じています。一方39号車は、今回予選からの速さを結果までつなげることができました。最終までいいレースをしていたと思います。リスタートも良く、もう少しでもう1台も抜けるつもりでしたが、本日に良く頑張ってくれたので、今まではいいレースができていたと思います。最終戦までさらにもう一つ上を...という期待もしています。いい形で迎えたいですね。2台ともに好成績でシーズンを締めくくることができるといいと思います。残り1戦も頑張りたいと思います」

監督:立川 祐路

TEAM DIRECTOR

国本、ベSTRIZALトを更新し4位入賞!

UPDATING RESULT!

Update the result of him, and the winning 4th.

AND THE FIGHT CONTINUES!!

NEXT BATTLE STAGE!!

第7戦 三浦雄弥選手への挑